

戦跡紹介

旧制北野中学校本館の弾痕

(大阪市淀川区新北野2-5-15 府立北野高校)

旧制北野中学校(現府立北野高校)の本館西壁に、7月の空襲によるものと思われる弾痕28個が刻まれています。弾痕1個の直径は30cmくらい。新館に建替えの際にもその壁面はそのまま保存されました。太平洋戦争中の1945(昭和20)年3月から8月のあいだに、空襲で9人の北野中学校生が若い命を散らしました。校庭に殉難の碑が建てられています。



ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝え、「平和の首都」大阪の実現をめざす『ピースおおさか友の会』会員を募集しています。

Table with membership details including benefits, fees, and application methods.

ピースメッセージ

ピースおおさかに来られた方から寄せられたご意見・ご感想の一部をご紹介します。

- List of messages from visitors, including comments on the museum's atmosphere and educational value.

寄贈品紹介

●警防団の鉄帽

一見すると日本陸軍の90式鉄帽(昭和7年に被服抜いとなり、鉄兜から鉄帽と改称された)のようですが、陸軍をあらわす星の徽章や頭頂部の四つの空気穴がないことなどから、警防団用の鉄帽であることがわかります。...



前原 軍二 氏 寄贈 (サイズ:270×235×140mm)

ピースおおさかミュージアムショップ オリジナルグッズの紹介

常設展示を解説した「展示のてびき」や来館記念・お土産として「缶バッジ」「キーホルダー」「Tシャツ」「ランチクロス」「フィールドワーク 大阪城周辺に残る戦争の傷あと」(マップ・解説)など、オリジナルグッズを販売しています。



ピースおおさか ご利用案内

- List of services including group visits, exhibitions, and material donations.

資料寄贈者 2008.4.1~2009.3.31 (敬称略)

Table listing donors and their contributions, categorized by group and individual.

資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料及び資料に関する情報を収集し、調査・研究に役立て、後世に伝えていくため大切に保存しています。...

●問い合わせ先●

ピースおおさか

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号 TEL.06-6947-7208 FAX.06-6943-6080



ピースおおさか OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2009 5/20 (平成21) No.40

編集・発行/財団法人 大阪国際平和センター 〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号 TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080 ホームページ http://www.peace-osaka.or.jp

「刻の庭」壁面整備が完成



子どもたちに戦争の悲惨さと平和の願いを継承するために子ども自身の参加による「刻の庭」壁面の整備事業をおこないました。2008年4月から12月までに来館された、およそ200校、1万5千人の児童・生徒一人ひとりに、5センチ角タイルの素地に平和への願いや思いを刻んでいただき、粟津ケンさんのデザインで壁面に貼りつけられました。

3月20日(祝)午前10時から、講堂で約120名の児童・生徒、関係者の出席のもと、完成記念式を開催しました。式典は出席者全員の黙祷ではじまり、来賓挨拶、壁面デザインの意義やコンセプトの



説明、児童・生徒の代表による「タイルの取組みと平和の願い」の作文朗読、大阪戦災傷害者・遺族の会代表による「空襲体験の継承と平和の願い」の訴え、感謝状贈呈へと続き、「刻の庭」に移動後、壁面タイルの白布が除幕され、「一万五千人の壁画ここに」の詩が朗読されました。

2005(平成17)年8月に整備された「大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場」(刻の庭)は、平和を願う子どもたちの1万5千のタイルとともに、当センターの「世界の平和と繁栄に積極的に貢献する」という使命の、おおいなる光となって全世界に放たれていくものと確信いたします。



■開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで) ■入館料 大人250円、高校生150円(中学生以下、65歳以上及び障がい者の方は無料) ■休館日 月曜日、国民の祝日の翌日(月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は開館)、月末、年末・年始 ■交通 JR環状線・地下鉄「森ノ宮」駅下車西へ約400m

展示事業

収蔵品展

「寄贈品で見る 戦争中の暮らし」

期 間：6月17日 火～9月14日 日 (76日間)

協 力：ピースおおさか資料寄贈者の皆さん 参加者：13,578名



ピースおおさかは1991(平成3)年に開館しましたが、前身である『大阪府平和祈念戦争資料室』当時から、戦争の悲惨さと平和の尊さを伝える貴重な資料を多数寄贈いただき、大切に保管するとともに、常設展示や特別展示で公開してきました。戦争を体験された方々から当時の話を聞く機会も少なくなりつつある今日、これらの寄贈品は、当時の記憶や想いが詰まった『ものいぬ証人』として戦争を伝えていく大切な資料です。

今回、これらの収蔵品を展示することにより、戦争中の国内や戦地での暮らしについて紹介し、戦争について考える機会となりました。

特別展「核の恐怖ーヒロシマ・ナガサキの原爆被害ー」

期 間：9月25日 木～12月27日 土 (77日間)

協 力：日本平和博物館会議 参加者：28,542名

1945(昭和20)年8月6日午前8時15分、人類史上初めて原子爆弾がヒロシマに投下され、さらに3日後の8月9日午前11時2分には、2発目の原子爆弾が長崎に投下されました。市街地は廃墟と化し、多くの人々の命が奪われました。かろうじて生き残った人々も、心と体に大きな痛手を受け、60年以上たった今日も被爆された方々の多くが、後遺症などで苦しんでいます。10月24日～30日は「国連軍縮週間」ですが、核をめぐる世界情勢を見ると、インドやパキスタンのように核を保有する国が増えるなど、人類は依然として核の恐怖にさらされています。

今回の特別展では、写真パネル30点とピースおおさか所蔵の被爆資料を展示し、原爆被害の実相を再確認するとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けて、私たちは何をすべきか、何をしなければならないのかを考える機会となりました。



特別展「『満州国』とシベリア抑留」

期 間：1月15日 木～4月29日 水 (85日間)

協 力：遠藤敬一氏(体験画)、独立行政法人平和祈念事業特別基金 参加者：11,049名(3月31日現在)



1931(昭和6)年に『満州』(現中国東北部)の柳条湖で起こった鉄道爆破事件をきっかけに、日本軍はその地域の主な都市を制圧し、翌年には清国最後の皇帝溥儀をたて『満州国』を建国しました。そこでは「五族協和」「王道楽土」をスローガンとし、日本政府や新聞は満州を希望の大地のように表現、多くの日本人が満州へ渡っていきました。

太平洋戦争末期、日本の敗戦が色濃くなると、1945(昭和20)年8月9日にソ連が対日参戦し満州に攻め入りました。その地に残されていた多くの日本人は、命からがら日本本土へ引揚げてきましたが、投降した日本軍兵士などは帰国することができず、ソ連のシベリア地域などに強制的に送られ、劣悪な環境の下、労働力として酷使されました。

今回の展示では「満州国」とシベリア抑留に焦点をあて、当時の状況について紹介しました。

16ミリ映画・ビデオ・写真パネルの貸出 地域や学校での平和学習に、16ミリ映画フィルムやビデオ・写真パネルをご利用ください。無料で8日間利用できます。

ピースおおさか2008(平成20)年度の事業報告

4月より3月までの主な事業の様子を報告します。

8・15終戦の日平和祈念事業

第1日

アコースティックギター・コンサート

「平和を紡ぐ人ー平和・しあわせ・いのちー」

出演者：ちめいど (中越 雄介・中越 雄大) ナビゲータ(司会)もず唱平

日 時：8月9日 土 午後2時～4時

参加者：168名



第2日

講演会「私の戦争体験と平和への願い」

～大阪空襲死没者名簿づくりに込めた想い～

講 師：伊賀 孝子 (大阪戦災傷死者・遺族の会会長)

日 時：8月10日 日 午後2時～3時30分

参加者：93名



12・8開戦の日平和祈念事業

「成世昌平&もず唱平 歌で検証する戦争と平和」

日 時：12月6日 土 午後1時30分～3時30分

ナビゲータ：もず 唱平

出演者：吉村 康 成世 昌平 鈴木 潔 高橋 樺子

参加者：202名



3・13大阪大空襲平和祈念事業

「空襲体験の継承～体験者と若者のリレートーク～」

日 時：3月7日 土 午後2時～4時

講 師：矢野 宏 (関西大学講師) 空襲体験者(3人)と 聞きとり大学生(4人)

参加者：168名



ピースおおさかのいろんな形の屋根 平和とは、多様なものが相互に認め合って同時に存在し得る世界であることを表現しています。

企画事業

ピースセミナー

「平和創造の方法を 共に考えるワークショップ」

～子どもたちに平和をどう伝えるか～

日 時：2月8日 日 午後2時～4時

講 師：奥本 京子 (大阪女学院大学准教授)

参加者：90名



ウィークエンド・シネマ

ピースおおさかで所蔵している戦争や平和についての映画を、多くの方々にも鑑賞していただくための機会として、土曜日、日曜日に実施しました。

実施回数 82回(24作品) 参加者合計 2,126人(上映1回あたり25.9人)

フィールドワーク

「堺空襲の被災あとを歩く」

堺市戦災殉難之地記念碑、神明神社、大浜公園、戦災無縁地藏尊、祥雲寺など

1945(昭和20)年7月10日未明、堺は2000名近い死者を出す大規模な空襲にみまわれました。その地域を歩き、平和の意味を考えました。

日 時：11月23日 日 午前9時30分～12時

講 師：網 信二さん (郷土史家)

参加者：32名



C展示室「世界は今」コーナー

- ・3月下旬～5月中旬 「紛争地の今ーコソボ」
- ・5月中旬～1月中旬 「名探偵コナン サミットガイド」
- ・1月中旬～7月下旬 「紛争地の今ーグルジア」

講堂内展示コーナー

- ①寄贈資料の展示 4月～3月 直近の1年間に寄贈された資料を展示した。
- ②写真パネル等の展示
 - 12月下旬～4月下旬 「大阪に残る戦争の傷あと」
 - 5月下旬～6月上旬 「大阪空襲体験画」①(プリント版)
 - 7月上旬～1月下旬 「愛華ちゃんの地球の秘密」
 - 12月10日～16日 北朝鮮人権侵害問題啓発週間
 - 1月下旬～5月下旬 「大阪空襲体験画」②(プリント版)